

全員協議会で 議論が白熱

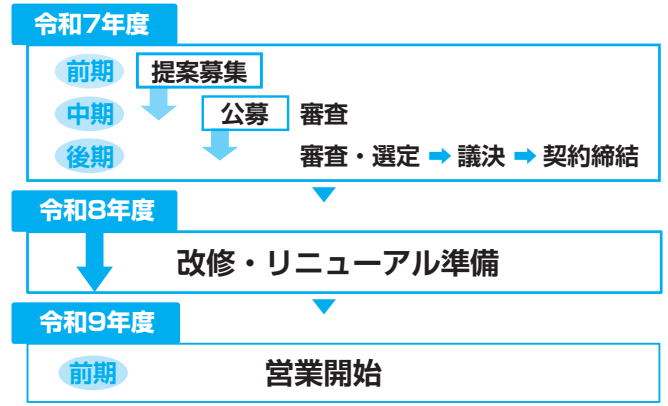
5月23日に議会全員協議会が開催され、執行部から「ラ・フォーレ吹屋の現状と今後について」、「高梁国際ホテル建物等賃貸借契約などについて」の説明がありました。

ラ・フォーレ吹屋の 現状と今後について

新指定管理者の撤退により、令和6年6月から休館しているラ・フォーレ吹屋の現状と事業再開に向けた今後の方向性について報告がありました。昨年度実施したアンケートやコンサルタントによる調査・分析により、3つの施設コンセプトを基にし、今後民間事業者から提案を求めるという内容でした。

- ① 富裕層をターゲットとしたラグジュアリーホテル
- ② アジア層のインバウンドや国内旅行者をターゲットとした宿泊型ホテル
- ③ 大学生や社会人の合宿をターゲットとした地域に根差したホテル

ラ・フォーレ吹屋 最短での再開スケジュール(案)



議員からは、ホテルのコンセプトありきでなく、吹屋の町並みとの調和や地域住民との関わりなど周辺の環境整備が必要といった意見があり、執行部からは、3つのコンセプトを軸とした柔軟な提案を民間から求める中で、持続可能で経済的にも成り立ち、市



ラ・フォーレ吹屋の経緯・経過

平成5年6月	旧成羽町が廃校となった吹屋中学校の跡地に第三セクターの農林漁業体験実習館として整備
平成11年末	管理運営方式を民間への業務委託に変更
平成16年9月	管理方式を指定管理に変更
令和4年10月	期間満了に伴い新しい指定管理者を選定
令和5年1月	指定管理者が撤退。営業休止
令和5年7月	新指定管理者が営業を再開
令和6年6月	新指定管理者の事業譲渡により営業休止

高梁国際ホテル建物等 賃貸借契約などについて

高梁国際ホテルは、平成9年8月に開業しましたが、開業3年目を迎えた平成12年に経営危機に陥り、市から高梁商工会議所に協力を求め、会議所有志により、平成13年に(株)高梁国際ホテルの経営陣が交代し、平成14年に新経営陣によりホテル再建を図りました。令和4年2月に20年間の建物等賃貸借契約の期間満了を迎え、その後、8月まで6

か月間の契約期間の延長に合意。さらに、令和7年8月まで3年間の契約期間の再延長に合意し、この度、執行部から契約期間の再々延長の提案がなされました。

この再々延長に当たって執行部からは、高梁国際ホテルは、まちづくりや市民、観光客及びビジネス客にとって有用な都市機能であるとの認識の下、これまでの契約内容や議決を得た事項、議会での答弁等に基づき、(株)高梁国際ホテルと誠意をもって協議を進めるとともに、今後の修繕や運営等のあらゆる面において、開業当時と比べ厳しい市の財政状況や社会情勢の変化を踏まえ、公金投入について慎重に検討すること、また双方、認識の相違が生じているとの報告がありました。



高梁国際ホテルの経緯・経過

昭和60年	高梁駅周辺開発懇談会を設置し誘致活動に取り組む
平成7年2月	(株)輝ノ家がホテル進出の意向を示す
平成9年8月	高梁国際ホテル開業(建設費約13億円)
平成12年	返済能力が著しく低下し、経営危機に陥る
平成13年3月	市から高梁商工会議所に対し、ホテル再建の協力を求める
平成13年8月	高梁商工会議所有志などにより株式を買収
平成13年9月	(株)高梁国際ホテルの経営陣交代
〃	損失補償(1億5千万円を限度)に係る債務負担行為補正について議会の議決を得る
平成13年12月	市が約12億5千万円をもって建物を買収
平成14年2月	市と(株)高梁国際ホテルの間で建物賃貸借契約を締結(20年間)
令和4年2月	20年間の建物賃貸借契約の期間満了を迎え、同年8月までの延長を合意
令和4年8月	建物賃貸借契約の令和7年8月までの再延長を合意

い形での経営方法等について、コンサルタントによる調査を行ってきた等の答弁がありました。一方、議員からは、今後の進め方等については、議会としてもこの問題をしっかりと理解し、ホテルの在り方について、方向づけができるような形を模索していきたいとの意見もありました。

の財政的負担が軽減され、吹屋地域との連携が図られる事業内容を目指しているとの答弁がありました。